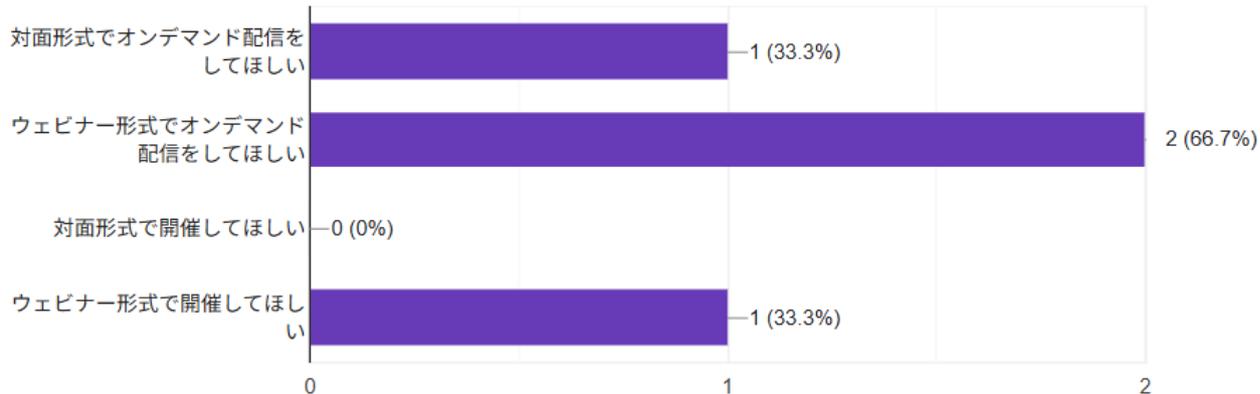


2025 年度 東日本研修会 報告書

2025 年度東日本研修会では、大学の看護学科における国際交流プログラムについて考える機会が提供されました。

研修会では、講師の経験をもとに、異文化理解を深めるための看護国際交流プログラムの紹介とその教育評価について詳細な講義が行われました。また、講師による丁寧な質疑応答の時間も設けられ、参加者の満足度が非常に高い研修となりました。

研修会テーマ	異文化理解を深める看護国際交流プログラムと教育評価
講師	大手前大学国際看護学部 准教授 戸田登美子 先生
開催日時	2025 年 8 月 3 日(日) 13:00～15:00
定員	申込数 15 名、スタッフ 3 名
研修方法	Zoom によるオンラインとオンデマンド配信 講義 150 分、ディスカッション 30 分
<p><アンケート結果> (3 名から回答を得た)</p> <p>講義について</p> <p>① 「講演のテーマは適切でしたか」 3/3 (100.0%) 非常に適切</p> <p>② 「講演の内容は満足いただけましたか」 3/3 (100.0%) 非常に満足</p> <p>③ 「内容に対しての総時間は適切でしたか？」 2/3 (66%) が適当、1/3 (33%) が長すぎる。</p> <p>④ 「進め方や情報量はいかがでしたか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間や情報力はよかったです。何よりも ZOOM であったので大変参加しやすかったです。 ・バランスが良かった <p>⑤ 「全体を通して、学びとなったことはどのようなことですか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外研修で学生に帯同する時に気を付けないといけないポイントが良くわかりました。有難うございました。 ・研修に参加後の学生の変化 <p>⑥ 今回の研修の内容を活用できそうですか？ 3/3 (100.0%) 非常に活用できる</p> <p>どのように活用していこうと考えているか教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学の学生海外研修に役立たせたいと思います。 ・国際実習を担当していますので、本学の実習にも活かしていこうと思います <p>⑦ 現在、国際看護実践・研究であなた自身が悩まれていることは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同研究 ・国際実習の効果についての評価 <p>⑧ 今後開催してほしい研修内容等のご要望はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今のところ思いつきません。 ・国際協力 <p>⑨ 今後の研修会の開催方法について</p>	



⑩ 今後、一般社団法人日本国際看護学会研修会に関して、まだ知らない方に、より情報を伝えていきたいと思えます。ご記入を頂いたあなた様の声を HP などに掲載させていただいてもよろしいでしょうか。

はい：2名

いいえ：1名

報告：

2025 年度の東日本研修会は、看護教育における国際交流の重要性とその教育的評価に焦点を当てた、非常に意義深い内容でした。戸田登美子准教授による講義は、異文化理解を促進する看護国際交流プログラムの実践的な紹介と、教育評価の視点を交えた構成で、参加者の関心と満足度を高めるものとなりました。

Zoom によるオンライン開催とオンデマンド配信により、参加のしやすさが確保され、講義・ディスカッションともに充実した時間が提供されました。アンケート結果からは、講演テーマの適切性、内容の満足度、活用可能性において高い評価が得られており、参加者が実際の教育現場や国際実習に活かせる学びを得たことが明らかです。

一方で、講義時間に関しては一部の参加者から「長すぎる」との意見もあり、今後の研修設計においては時間配分の工夫が求められるでしょう。また、国際看護実践・研究における悩みとして「共同研究」や「国際実習の効果評価」が挙げられており、これらの課題に対する支援や情報共有の場の充実が期待されます。

今後の研修会では、「国際協力」などのテーマへの関心も示されており、より広範な国際的視野を持った看護教育の発展に寄与する内容が求められています。